

第15回医療安全管理業務監査報告書

福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会規程に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

監査方法

福井大学医学部附属病院の医療安全管理業務について、医療安全管理責任者及び医療安全業務従事者等から、説明聴取及び資料閲覧により報告を求め、監査を実施しました。

日時：令和6年7月29日（月） 16:00～17:30

場所：福井大学医学部附属病院 B棟東2階医療環境制御センター会議室

委員長：山崎 宏人 金沢大学附属病院 医療安全管理部長

委員：安川 繁博 福井県医師会副会長

委員：草桶 秀夫 前福井工業大学環境情報学部 教授

委員：吉川 奈奈 杉原・きっかわ法律事務所 弁護士

監査項目

- 1) 2023年度のおカレンス（インシデント）報告について
- 2) Rapid Response System（院内迅速対応システム）体制について

監査結果

- 1) 2023年度のおカレンス（インシデント）報告について
 - ①おカレンス報告について、件数、事項別割合及び職種別割合の年度別比較等により、状況の把握や分析が適切に行われていることを確認しました。
 - ②インシデント報告について、影響度割合の年度別比較、また、部署別内訳により、状況の把握や分析が適切に行われていることを確認しました。
 - ③患者間違い事例報告について、事項別、影響度別の年度比較、また、職種別、経験年数別比較により、状況の把握や分析が適切に行われていることを確認しました。
 - ④合併症報告を促す病院長や医療安全管理部の取り組みは、医師からの報告割合向上に寄与していると考えられます。
- 2) Rapid Response System（院内迅速対応システム）体制について

RRS体制が導入された経緯、体制の概要及び運用状況により、院内における急変患者発生時の対応が適切に行われていることを確認しました。

RRT及びMETそれぞれの役割が明確になっており、また、METメンバー招集時における通信システム上のトラブル発生に備え、バックアップ手段が講じられていることは、リスク管理が徹底されている好例と考えられます。

新体制について職員への周知を図るため、院内研修会等の開催の検討をお願いします。また、新たに稼働した MET の導入効果を含め、両チームの活動を継続的に検証することで、RRS 体制がより有効に機能することを期待します。

総括

福井大学医学部附属病院における医療安全管理業務の状況について監査した結果、高度な医療を提供する特定機能病院としてふさわしい医療安全管理がされているものと判断します。

引き続き、良好な医療安全管理状況の維持に努めていただくようお願いします。

令和6年9月5日

福井大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会
委員長 山崎 宏人